

共生・公正・創造
共生の精神のもとに、心
とこころをつなぎ、次代
につながる公正な社会を
創ります。



JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合
東京地方本部
東京都千代田区鍛冶町2-11-11
発行者・福田 高夫 編集者・依田 匠一
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

基準内賃金の3.12ヶ月回答！

12月11日(木)以降、準備出来次第

55歳以上の社員への一律3万円加算、エルダー社員及びグリーンスタッフへの精勤手当に一律3万円の加算については、支給なし

基準内賃金の3.6ヶ月要求 55歳以上の社員への3万円加算、エルダー社員及びグリーンスタッフへの精勤手当に万円加算

第1回目交渉 10月31日 交渉団は力強く満額回答を求める！
組合側主張

第2四半期決算は、経常利益、四半期純利益は第2四半期として過去最高。この業績は、グループ会社も含めて社員一人ひとりの努力によるものだ。

社員の生計費負担は日増しに増えている。ガソリンや灯油代は高止まりしており、生鮮食料品も値上がりしている。

ボーナスが生活給の一部である現実の中で、好調な業績をつくりだした社員の期待感は高まっている。

経営側主張

新幹線の好調により営業収益は伸びたもののH4年のピーク、H20のリーマンショック以前の水準には届いていない。

景気も消費に足踏み感があり、基調判断は2ヶ月連続で引き下げと先行きは予断を許さない。

少子高齢化や産業空洞化により課題は顕在化し、達成に向けたさらなる努力が必要。

2014年末手当交渉これまでの経過

年末手当要求満額獲得総決起集会 11月7日 ホテルラングウッド

ホテルラングウッドに、他労組組合員も含む260名を超える組合員が集結しました！

会場内は満額回答を求める熱気、経営側に対する怒りで充満されました。

職場から満額獲得のために組合員が一人ひとり闘い抜くことを決意しました



関東ブロック意見交換会

2部として総決起集会終了後、関東ブロックによる懇親会が行われました。東京地本が幹事地本として、懇親会の進行を努めました。福田地本委員長が挨拶に立ち、懇親会を盛り上げるため、お楽しみ抽選会を開催しました。

第2回目交渉 11月11日 経営側よりネガティブとも受取れる経営環境、経済動向の認識が出される
経営側認識

平成20年度のリーマンショック以前の水準には届いていない。

10月に2週連続で台風の影響を受けていることは心配な材料。

営業費用が大幅に増加、物件費の中でも修繕費、部外委託関係を含めて増加、設備投資の増加で減価償却費も増加。

人件費についても退職給付費用の会計制度が変更となり若干減少しているが、あくまでも会計基準の変更であり実際のコストダウンではない。

これに対し本部交渉団は、経営側より示された「ネガティブと受け取れる」経営動向や経営環境の認識に対して、職場でのたたかいを力に要求満額の支払いを強く求めました。さらに「55歳以上の社員に対して、一律3万円の加算を追加要求すること」団体交渉の席上、経営側に追加要求を行いました。

2015年恒例 東京地本新春の集い

2015年1月24日(土)11時から
ホテル・ラングウッド6階 (JR日暮里駅下車)

第一部 11時~12時

年頭のあいさつ

基調報告

第二部 12時15分~14時30分

懇親会

お楽しみ「大抽選会」

会費 3000円

皆さんのご参加お待ちしております。

第3回目交渉 11月26日

経営側より3.12ヶ月との回答が示されました。交渉団はエルダー社員及びグリーンスタッフの精勤手当、55歳以上の社員に対する加算について回答に触れられていない事を指摘しましたが、経営側は「人事賃金制度で改善されている」との回答をしました。

さらに、経団連が発表した大手企業の冬のボーナスの妥結平均額は昨年の実績と比べて約105%で世間相場と捉えることができる。約105%を当社にすると3.3ヶ月に近い数字からすれば、当社の回答の3.12ヶ月では抑えすぎであることを指摘しました。

しかし、経営側が今回回答を最終回答としており、これ以上の進展は見込めないことと、組合としての結束力を図ること、エルダー社員、グリーンスタッフ、55歳以上の社員の奮闘に関しては認識が一致していることから、妥結することを回答しました。